

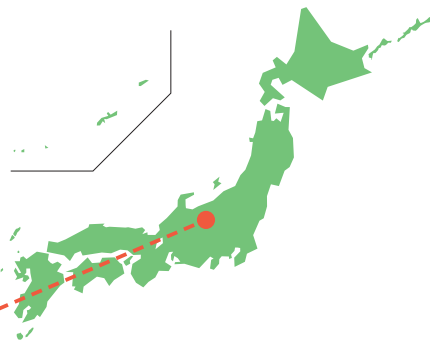
写真で見る

都市の変遷

今と昔の風景

地域の発展や変化にあわせて
移り変わってきたまちの姿。
今と昔を写真とともに振り返ります。

ながの
長野市（長野県）



令和
5年
(2023年)



訪れた皆さまをお迎える
「門前回廊」



長野市都市整備部
まちづくり課
とおやまたつゆき
遠山健幸さん

県都長野の玄関口「長野駅」

長野駅は、明治21年の開業以来、長野市の中心駅として、訪れた皆さまを温かくお迎えしてきました。昭和11年に完成した仏閣型駅舎は、多くの皆さまに愛されてきましたが、長野新幹線開業に伴う駅の橋上化により、平成8年に惜しまれながらも取り壊されました。

その後、駅前広場の再整備が行われ、県都の玄関口にふさわしい新たな顔として、おおびさし れっちゅう もんぜんかいろう長野の歴史や伝統を門という形で表現した大庇・列柱「門前回廊」が誕生しました。



昭和
40年代
(1965年頃)

多くの皆さまに愛された
仏閣型の駅舎